

近畿本部経営工学部会 平成29年12月度定例会および研修会議事録

日時 平成29年12月16日(土) 13:30～17:00

場所 公益社団法人日本技術士会 近畿本部 会議室

出席者 21名

配布資料 ①平成29年12月度定例会(研修会)議事進行表

②例会出席表

③研修会配布資料(外山氏)

④CPD 行事参加票

司会進行 担当幹事 田代 芳樹、藤原 章治 (以下敬称略)

1. 研修会

(1)開会挨拶(間島部会長)

最近の2つのことについて紹介させて頂く。

①あるファッション企業のオーナー社長(40歳代)からのお話として

- ・自社のイノベーションとして、常に路線転換を行わなければならない。
- ・新たな事業を行う時は、常にその事業の撤退を考えている。
- ・新たな投資案件については、事前に撤退を判断する設定を行っている。
- ・また、社内業務の生産性向上(勤務時間の短縮化など)に向け様々な施策を段階的に実施している。

②東日本大震災の復興状況

11月に、気仙沼から南三陸、女川、石巻と東日本大震災後の復興状況を駆け足にて見してきました。

- ・今回感じたことは、阪神・淡路大震災後の神戸地区の復興と今回の東北復興では大きな違いがある。
- ・東北の復興では、神戸と同じような考え方では「上手く行かないのではないか」と感じた。
- ・最初に、「誰のための街づくりか？」を考えないといけないと思われる。
- ・従来からの地域産業である水産加工に止まらず、地域の資産を活用した新たな産業を考えることが必要かも知れない。例えばとして、海の資産を活用した化粧品や健康食品などの産業など。

いずれにしても、高齢者が多い地域にて新たなビジネス展開は難しそうである。

(2)講演(13:40～16:05、質疑応答含む)

・演題:「中国製造企業への生産管理効率化指導及び従業員教育訓練の経緯」

・講師: 外山 榛一、(トヤマ シンイチ) 技術士(機械部門、総合技術監理部門)

・概要: 中国企業を指導するに至った経緯、射出成型機の概要、工場での改善指導内容について説明された。技術士会発行の「技術士ハンドブック」の生産マネジメント指導原理に沿って指導を実施し、工場の整理・整頓・清掃を実施、結果として、機械設備、工具、部品棚、倉庫、塗装場等が改善された。また、労働安全面においても「中国労働安全生産法」の改正概要についてもご紹介頂いた。

— 休憩(16:05～16:15) —



2. 定例部会(16:35～)

(1) 技術士会／近畿本部および経営工学部会の活動実績 (16:35～)

- ① 10/20-23日本技術士会／第44回全国大会(山口)
- ② 10/26-28第47回日韓国際技術交流(釜山にて)
- ③ 11/6(土)技術士業務研究会(京都マテリアル)
- ③ 11/17-18第23回西日本技術士研究・業績発表年次大会(松山)
- ④ 12/9(土)近畿本部合同部会研修セミナー(大阪科学技術センター)

(2) 技術士会／近畿本部および経営工学部会の活動予定

- ① 2018/1/13(土)近畿本部／賀詞交換会(今回からセミナーあり、参加費要)
- ② 2018/1/20(土)近畿本部修習技術者支援セミナー(大阪科学技術センター)
- ③ 2018/1/27(土)「技術士を目指そう2018! in 大阪」(大阪科学技術センター)
- ④ 2018/2/3(土)倫理セミナー(阪大／中之島センター)
- ⑤ 2018/2/10(土)産学官と技術士の合同セミナー(大阪科学技術センター)
- ⑥ 2018/2/17(土) 2018年2月度の「部会+研修会」
- ⑦ 2018/2/24(土)近畿本部技術士第1次試験合格者祝賀会

(3) 自由発言・幹事会報告、その他

- ① 鶴田明三氏(株ジェダイト)よりご挨拶および会社紹介
- ② 近畿本部組織として、応用理学部会独立して設置する。また、各県支部をつくる活動を開始する予定。

3. 閉会(田代副部会長)

前回、企業のデータ改ざんの話をしらせて頂いたが、メインの業務において、検査基準値を外れた時に納期やコストを鑑みて、顧客との取り決めで「特採」という言葉を用いて製品を適用する場合がある。メディアでは、「特採」はNGとされるが、メーカーにおいては「特採」は、建設的な対応で、バッファとして、取り扱われる場合が多い。Q(品質)、C(コスト)、D(納期)は、トライアングルであり、経営工学がこれを解決していく。縛ってガチガチにするのではなく、人は間違っ、物は壊れるという観点でとらえることが重要である。

以上(文責:藤原章治)